

親子で運動、楽しいよ♪ みんな集まれ！あそぼう広場

5月18日に会見小学校グラウンドで「みんな集まれ！あそぼう広場」が開催され、およそ20組の親子が芝生の



イベントが開催される予定です。（開催についての詳細は4ページをご覧ください）

上で体を動かした遊びを楽しみました。夏を思わせる日差しが降り注ぐ中、タオルを使って走ったり、跳んだり、転がったり、思い切り体を動かして遊びました。今後「かぞくの日」に合わせて様々なイベントが開催される予定です。

おめでとうございませう

◆危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章（警察功労）

永榮 ながえ 紀文 のりふみ さん

（71歳・元警視正・宮前一区）



昭和41年から平成15年までの37年間にわたり、鳥取県警に勤務されました。主に少年非行の防犯、覚せい剤の取り締まり等の犯罪活動に従事されました。

「転勤が多く、家内には大変苦勞を掛けました。勤務先では人に恵まれ、良い出会いがたくさんありました。今後は、地域の皆さんが安全に暮らしていけるお手伝いをしていきたいですね」と話される永榮さん。現在は地区の老人クラブ会長や、保護司の活動に携わられています。

運動習慣を身につけ筋力アップ ロコトレ運動教室 （運動器機能向上教室）

今年度から新しく始まる「ロコトレ運動教室」が、総合福祉センターしあわせで行われました。「若さは美しい姿勢から」をテーマに、町内の60～70代、20名が参加。下肢筋力、バランス能力、柔軟性アップを目的に3ヶ月間、全11回開催されます。

初日となる5月19日には筋力測定、姿勢分析器による姿勢のチェック等が行われ、最終日に再度測定をして変化を確かめることができます。また、運動指導員から「毎日行うことが大切」と説明、日常生活を行いながら出来る運動の紹介がありました。参加された60代の女性は「普段は全く運動をしていません。腰痛があるので、少しでも痛みが軽くなればと思います」と教室参加への意気込みを語られました。



体脂肪率や筋力を測定中

霜で被害 知事が南部町を視察

4月中旬の霜の害（霜害）により、柿などの農産物に被害が発生したことを受けて、4月25日に平井県知事が南部町内を視察されました。



赤井富雄（左）いみ果実部部長（写真左）と坂本町長から説明を受ける平井知事（写真右）

視察には平井知事をはじめ、県や農協の関係者らおよそ20人が参加しました。この視察は、4月15日に県内各地で早朝に気温が氷点下を下回ったことで霜が生じ、農産物に被害を及ぼしたことを受けて行われました。この霜害による農産物の被害額は、県全体で4億円あまりと、記録に残る1958年以降では、過去最悪の被害額となりました。柿などの農産物にとつて、4月中旬は新芽

が成長する時期のため、霜によって被害を受けると実が成らなくなります。会見地区には82戸の柿生産者があり、24ヘクタールの作付面積、年間およそ250トン、8000万円相当の柿を生産しており、今回の霜害の影響を受けました。

この日平井知事は、柿生産者から被害状況について説明を受けながら、およそ20分かけて視察。県では引き続き、他の農産物の被害状況なども調べ、対策を講じることにしています。